



『日本アспен・エグゼクティブ・セミナー』開催のご案内

2018年10月

[5泊6日]

一般社団法人日本アспен研究所

〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル 2 階

TEL:03-6438-9208 FAX:03-3405-1668

URL <http://www.aspeninstitute.jp>

古典を手掛かりに、人間的価値の本質を探る
日本アスペン・エグゼクティブ・セミナー

“自分が何に拠って立つべきか、何をベースに物事を判断すればいいのか。

ビジネスも国際化・複雑化する今、もっと大きな視点に立った判断を求められる場面が多くなります。

そうした判断力を養う上でアスペンセミナーは有効です。

自分が行動していく際に価値判断するためのいい物差しを身につけることができました。（参加者からの声）

「日本アスペン・エグゼクティブ・セミナー」は、各界のリーダーが、異質で多様な人的構成と都塵から離れた自然環境の中で、日本が直面している現在および将来にわたる課題の本質について、優れた古典やコンテンポラリーな文献をよりどころに、自由な対話方式によって語り合い、人間的価値の本質について思索し、自らの現在の位置を見極めながら将来を展望する「リーダーシッププログラム」です。



【概要】

- ❖ 時期 2018年10月4日(木)～9日(火)〈参加申込締切日8月1日(水)〉
〈土・日・祝日を含む5泊6日〉
- ❖ 場所 奈良県奈良市 『奈良ロイヤルホテル』
〈所要時間: JR奈良駅より車で約8分、JR奈良駅よりホテルまで専用シャトルバスを運行〉
- ❖ 対象者 企業の役員・幹部社員、官公庁の幹部、NPO・NGO関係者、学者・研究者など、
現在またはこれから指導者としての責任を負う方々
- ❖ 主な狙い
 - ・ リーダーとして判断し行動するための深い『洞察力』と『価値軸』を涵養する
 - ・ 多様な世界へと『視野』を拡げ、『理想』を構築し、人間力を高める
 - ・ 『内省』する力を養い、『対話』の重要性と方法について体験的に学ぶ
- ❖ 構成 モデレーター、リソース・パーソンを含め20～24名

【プログラム】

	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目
朝食						
午前の部		8:30~12:00 セッションⅡ 自然・生命	8:30~12:00 セッションⅢ 認識	8:30~12:00 セッションⅣ 美と信	8:30~12:00 セッションⅥ デモクラシー	8:30~11:30 レビュー ・セッション
昼食		12:00~12:40 懇談				
午後の部	1:30~3:00 オープニング ・セッション	自由研修	自由研修	自由研修	12:45~5:20 県内視察学習 ツアー	解散
夜の部	3:15~6:45 セッションⅠ 世界と日本	4:45~6:45 懇話会	5:30~6:30 文化プログラム	3:00~6:30 セッションⅤ ヒューマニティ	5:40~9:00 コメント・パーティー	
	7:00~9:00 ウェルカム・パーティー					

※上記のスケジュールは、事情により変更になる場合もございます。

【モデレーターとリソース・パーソン】

セミナーの中で、“対話”を活性化させ、適切な方向へと導く重要な役割を担うのが、『モデレーター』です。また、深い学識と豊富な知見を持ち、対話の質を高め、より実り多きものとなるよう助言して下さるのが、『リソース・パーソン』です。

当セミナーでは、学界、産業界の優れた方々に『モデレーター』および『リソース・パーソン』を務めていただいております。

村上 陽一郎	東京大学 国際基督教大学	名誉教授、 名誉教授
猪木 武徳	大阪大学	名誉教授
関根 清三	東京大学	名誉教授
渋谷 治美	埼玉大学	名誉教授
中村 桂子	JT生命誌研究館	館長
塩川 徹也	東京大学	名誉教授
橋本 典子	青山学院女子短期大学	名誉教授
荻野 弘之	上智大学	教授
堂目 卓生	大阪大学	教授
瀧 一郎	大阪教育大学	教授

他(2018.2現在)

【日本アスペン・エグゼクティブ・セミナーで取り上げる文献】

東洋・西洋の古典およびコンテンポラリーな文献から精選し、抜粋・編集した日本独自のテキストを使用します。

<西 洋>

	アメリカ独立宣言
	旧約聖書、新約聖書
アウグスティヌス	「告白」
アリストテレス	「ニコマコス倫理学」
ヴィーコ	「学問の方法」
カーソン	「沈黙の春」
カント	「永遠平和のために」
ゲーテ	「科学方法論」「形態学序説」
ケナン	「二十世紀を生きて」
J・パウロⅡ世	「法王庁科学アカデミーへの進化に関する教書」
ダーウィン	「種の起原」
デカルト	「方法序説」
トクヴィル	「アメリカにおけるデモクラシー」
ハイゼンベルク	「部分と全体」
ハヴェル	「ポストモダンの世界における自己超越の探求」 「自我の完全性のきわみまで」
プラトン	「ソクラテスの弁明」
モンテーニュ	「エッセー」
ユクスキュル	「生物から見た世界」
リップマン	「世論」
ロック	「市民政府論」

<東 洋>

	「古事記」
朝河貫一	「日本の禍機」
ヴァスバンドウ	「唯識二十論」
大森荘蔵	「流れとよどみ」
岡倉天心	「東洋の理想」
孔子	「論語」
坂口安吾	「日本論」
西田幾多郎	「場所的論理と宗教的世界観」
芭蕉	「奥の細道」
福沢諭吉	「学問のすゝめ」
与謝野晶子	「一隅より」
吉野作造	「吉野作造評論集」
ルーミー	「ルーミー語録」

【参加に関して】

- ❖ 参加資格・条件
 - ・セミナーの場で、より思索を深め、有意義な対話を行なうため、必ず全日程ご参加いただきます。
 - ・約2ヵ月前にテキスト(約370頁)を配布いたしますので、ご参加いただくまでに、書かれていることについて、ご自身の意見を発言できるようテキストを充分にお読みください。
 - ・ご夫妻でご参加いただくプログラムとなっていますので、出来る限りご夫妻でご出席ください。ご同伴者は一部日程(例えば1日)のみご出席いただいても結構です。ご同伴者にはオブザーバーとしてご出席いただきますので、意見を求められることはありません。(5頁「日本アспен・エグゼクティブ・セミナー」参加者のご感想をご参照ください)
- ❖ 使用言語

日本語
- ❖ 参加料金

正会員企業 600,000円(税込)、賛助会員企業 660,000円(税込)、
一般企業 700,000円(税込)
※協賛企業は、協賛いただいた時点から、その年度開催セミナーのみ正会員価格【同伴者】

 - ① 全日程参加の場合、150,000円(税込) [テキスト代含む]
 - ② 一部日程のみ出席の場合、滞在日数に応じ頂戴いたします。
1泊(朝・夕食付) 22,000円×宿泊日数+テキスト代+ツアー代(税込)等の実費

※実費費用増額の為、今年度より20,000円値上げいたしました。
- ❖ お申込方法

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、各回の参加申込締切日(P.1ご参照)までに電子メール ex-s@aspeninstitute.jp または、FAX(03-3405-1668)にてお送りください。

※万が一申込み人数が定員を超えた場合は、恐縮ながら会員企業様を優先させていただきます
※参加確定はテキストの発送をもって代えさせていただきます。
- ❖ お支払方法

ご参加確定後に請求書をご送付いたします。請求書記載の期日までにお振込みください。
- ❖ キャンセル料金

お申込み後キャンセルされる場合につきましては、下記のとおりキャンセル料金を頂戴いたしますので、ご了承ください。

参加確定後(テキスト送付後)	36,000円(税込)
セミナー開催 30日前～8日前 (開催日初日を含まず起算)	48,000円(税込)
セミナー開催 7日前～開催2日前 (開催日初日を含まず起算)	参加料金の1割(税込)
開催日前日および開催日当日	参加料金の2割(税込)

※本セミナーは、事前に多量のテキストをお読みいただいたうえでご参加いただきます。そのため、キャンセルが発生しても追加募集することが難しいこと、また外部施設を会場としていることもあり、施設に対する違約金も発生することから、上記のようなキャンセル料金を設定させて頂いております。何卒ご了承ください。

- ❖ 参加日程の変更

お申込み後参加日程を変更される場合につきましては、上記のキャンセル料金を頂戴いたしますが、新しい日程でのセミナー参加料金につきまして、30,000円(税込)のテキスト代を引いた額をご請求させていただきます。

❖開催中止の場合 セミナーへの参加お申込人数が12名に満たなかった場合には、やむを得ずセミナーを中止する場合がございます。中止を決定した場合には、すでにお申込みいただきましたお客様には速やかにご連絡を申し上げ、また、ご入金された受講料を返金させていただきます。

❖お問合せ先 一般社団法人 日本アспен研究所 長谷川
〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル 2階
TEL:03-6438-9208 FAX:03-3405-1668
E-mail:ex-s@aspeninstitute.jp

【「日本アспен・エグゼクティブ・セミナー」参加者のご同伴者の感想】

このセミナーで得た最大のものは、

参加者

- 古典に学び、根源的なことを考えることの大切さ。
対話により、思いがけず発生する内的高揚と共感。リーダーとしての謙虚さが人間力をきたえることで得られること。
- 思索することの大切さ(というより楽しさがある)ということを感じ得たこと。
- 古典への招待状！これに参加していなければ、ゲーテもカントもこれ程関心を持って読もうという気持ちは生涯なかったであろう！
- 「哲学」がいかに昔から広い範囲で、芸術・文化・科学・政治の基礎となっているかを発見。
それらをベースに、個人あるいは企業人としても、より大きな全体感のなかで意思決定を行なうべきであること。
- 日頃ビジネスにかまけて哲学はおろか教養にさえ程遠い自分が、とても小さく見えた6日間だった。
今まで自分が判断の基準としていたものが、ほとんど自らの経験、ビジネスを取り巻く範囲での現代の方々の主張に基づいており、それはそれで大変貴重なものですが、人類の歴史のなかで既に多くの先達が辿りついた思想や世界観は、はるかに大きな示唆をたくさん含んでいることを実感しました。
アспен出席後、人生の新しいフェーズに入ったような気がします。

ご同伴者

- 普段は話さないようなことを、家の雑事から離れて夫婦で話し合ったり、すばらしい方々とお逢いできたのは最高の体験でした。
- 夫の外での姿がよく分かり、見直しました。ぜひ皆様、ご夫婦同伴をおすすめします。
旅行以外でこんなにホテルでゆっくりできるなんていいチャンスを頂き感謝。
- 素晴らしい先生方にお会いでき、熱心な参加者の方々と「共に考える」時間を持つことができ、とても有意義な毎日でした。